

なぜコロナ危機下でベーシックインカム が注目されるのか？

駒澤大学経済学部准教授 井上智洋

令和3年2月24日

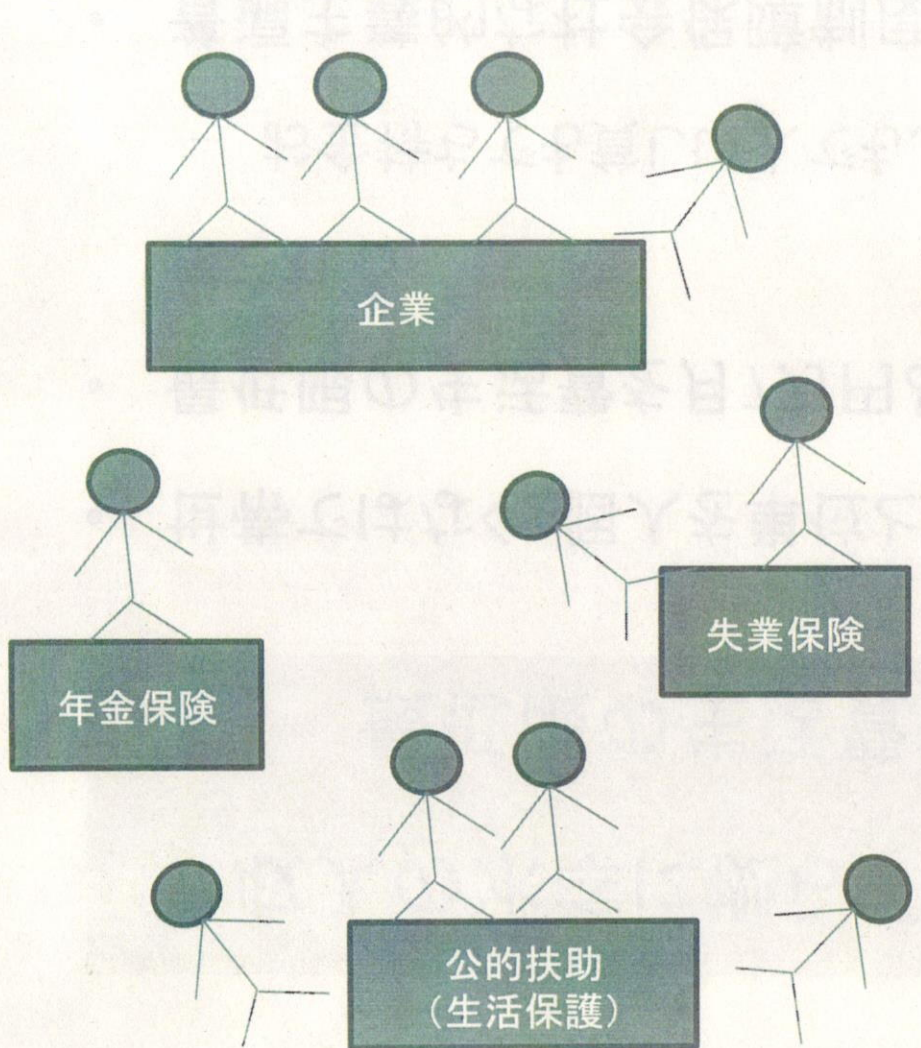
参議院 国民生活・経済に関する調査会

ベーシックインカムとは何か？

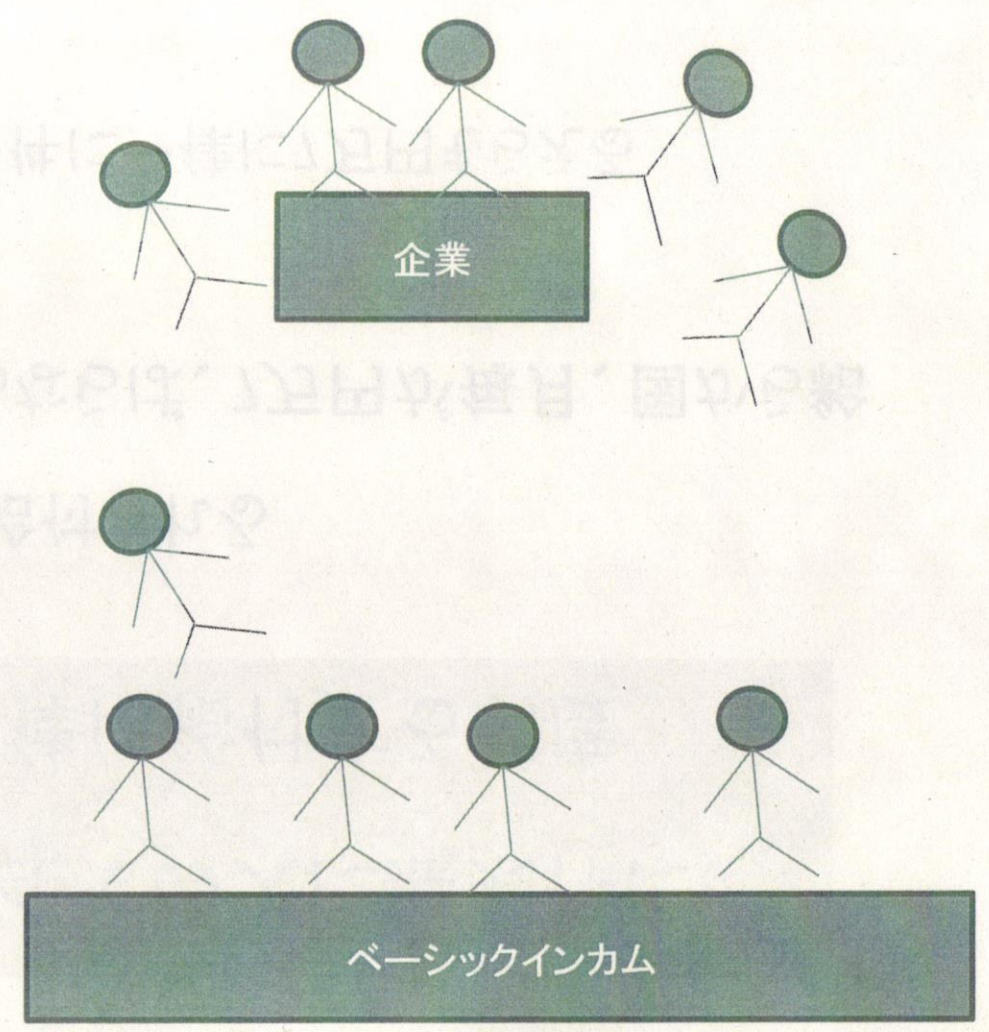
ベーシックインカム (BI) とは

収入の水準に拠らずに、全ての人に無条件に、
最低限の生活費を一律に給付する制度

- 世帯ではなく、個人を単位として給付される
- 最低限の生活費を月7万円とするならば、7万円が毎月、国から給付される
 - お金持ちでも貧しい人でも、無条件に一律に7万円もらえる
- 普遍主義的な社会保障制度

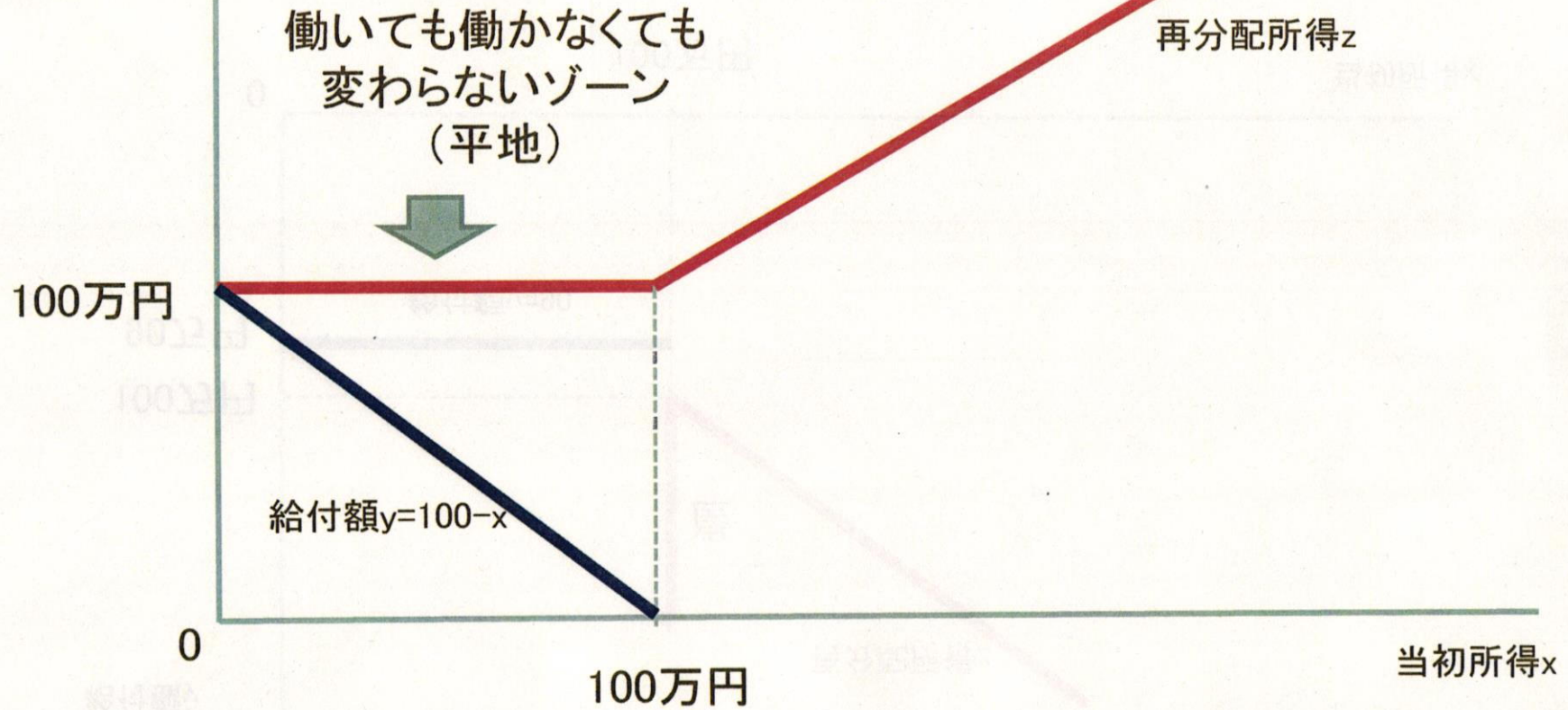


既存の社会保障制度

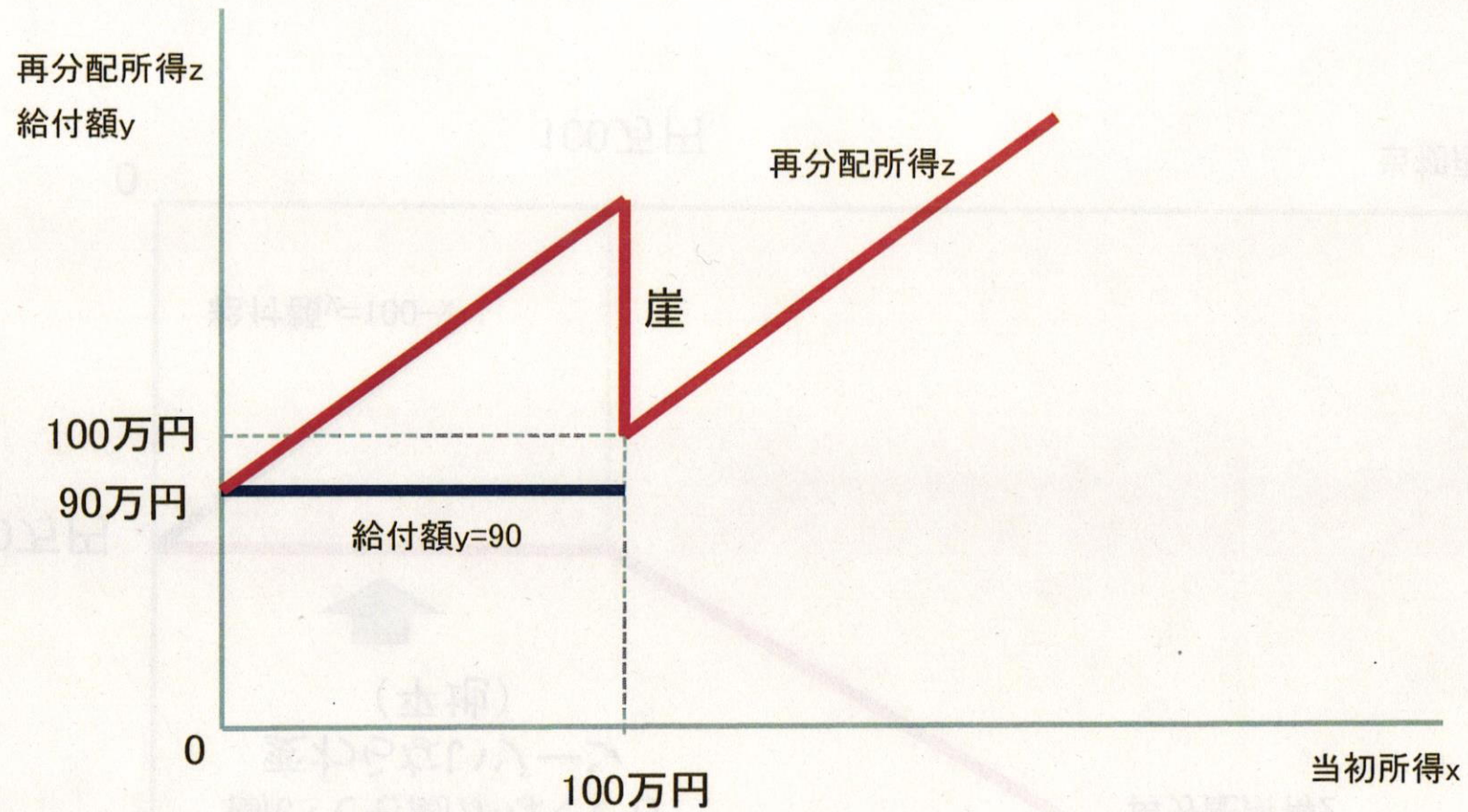


ベーシックインカム

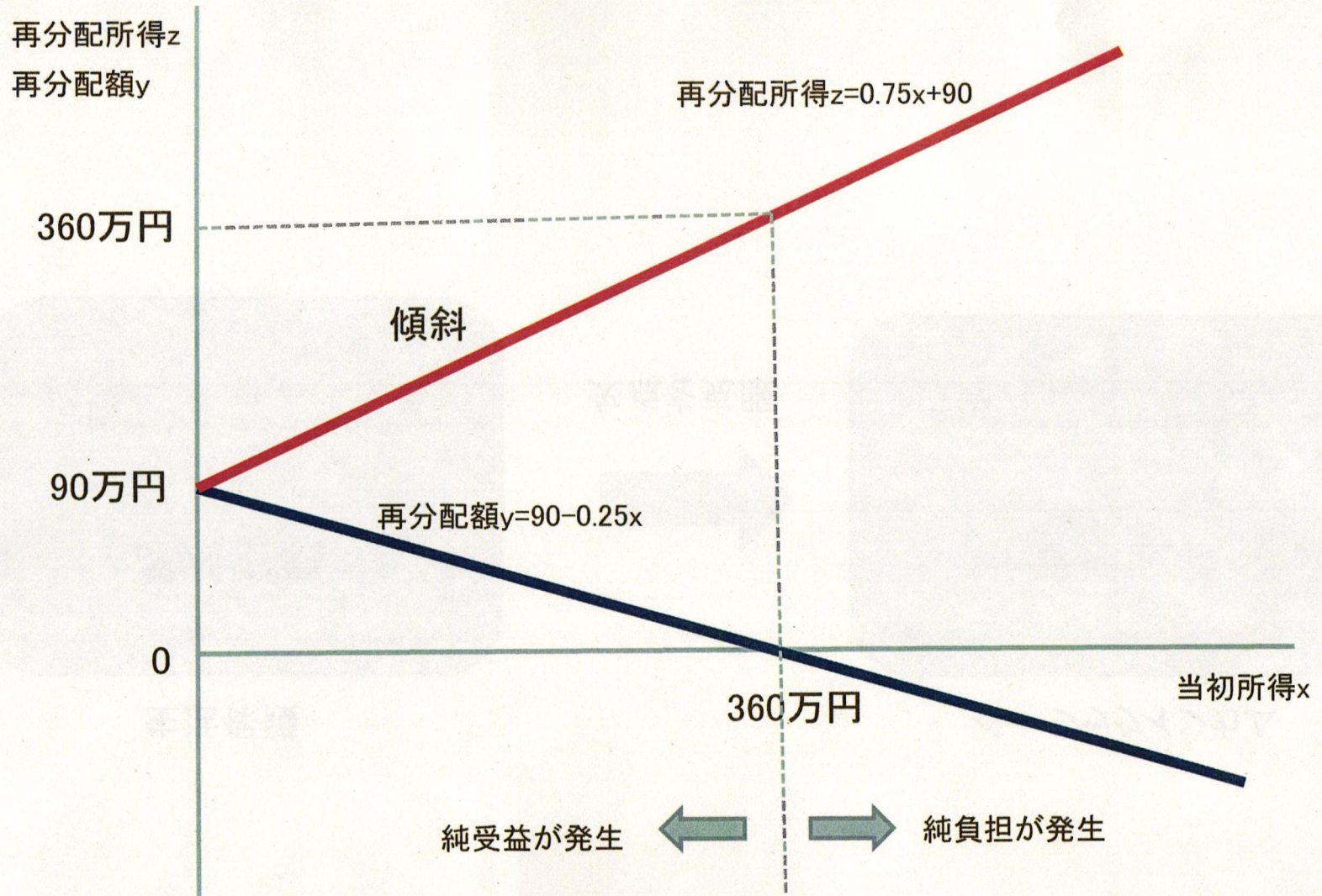
再分配所得z
給付額y



生活保護制度下の再分配所得
(年収100万円以下の人に100万円の収入を保障)



「所得制限ありの一律給付制度」下の再分配所得
 (年収100万円以下の人に90万円給付)

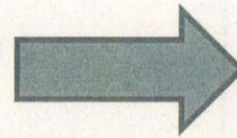


ベーシックインカム制度下の再分配所得
(年間90万円給付・一律25%増税)

生活保護

選別主義

労働のインセンティブなし



欠点を克服

ベーシックインカム

普遍主義

労働のインセンティブあり

BIの分類① 限定BIと部分BI

- 限定BI
 - 一部の人々しか対象にしていない
- UBI(ユニバーサル・ベーシックインカム)
 - 全ての人々を対象にしている
- 部分BI
 - 最低限の生活を保障していない
- 完全BI
 - 最低限の生活を保障している(全ての人々)

BIの分類② 社会保障との関係で分類

- 代替型
 - 既存の社会保障制度を全て廃止する
- 追加型
 - 既存の社会保障制度を全て残す
- 中間型(改革型)
 - 既存の社会保障制度の内残すものと廃止するものを取捨選択

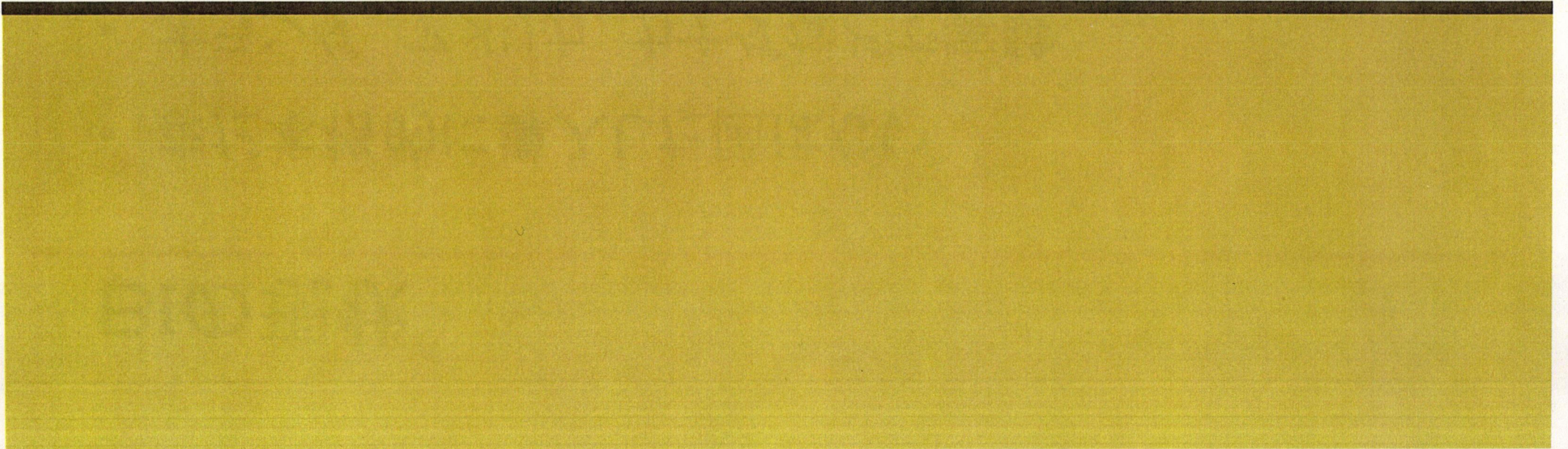
BIの分類③ 財源で分類

- 租税BI
 - 租税が財源
- 国債BI
 - 国債が財源
- 貨幣発行BI
 - 貨幣発行益が財源

BI導入の副作用

- 1. 労働意欲の低下
- 2. 過剰消費
- 3. インフレーション

ベーシックインカムの現状



BIの現状

- まだ本格的に導入した国はない
- オランダ、アメリカ、カナダなどで実験
- フィンランド：実験終了
- スイス：国民投票により否決(2016年)
- イタリア：市民所得(2019年4月～)
 - 所得制限あり
- スペイン：最低生活所得(2020年6月～)
 - 所得制限あり

フィンランドの実験

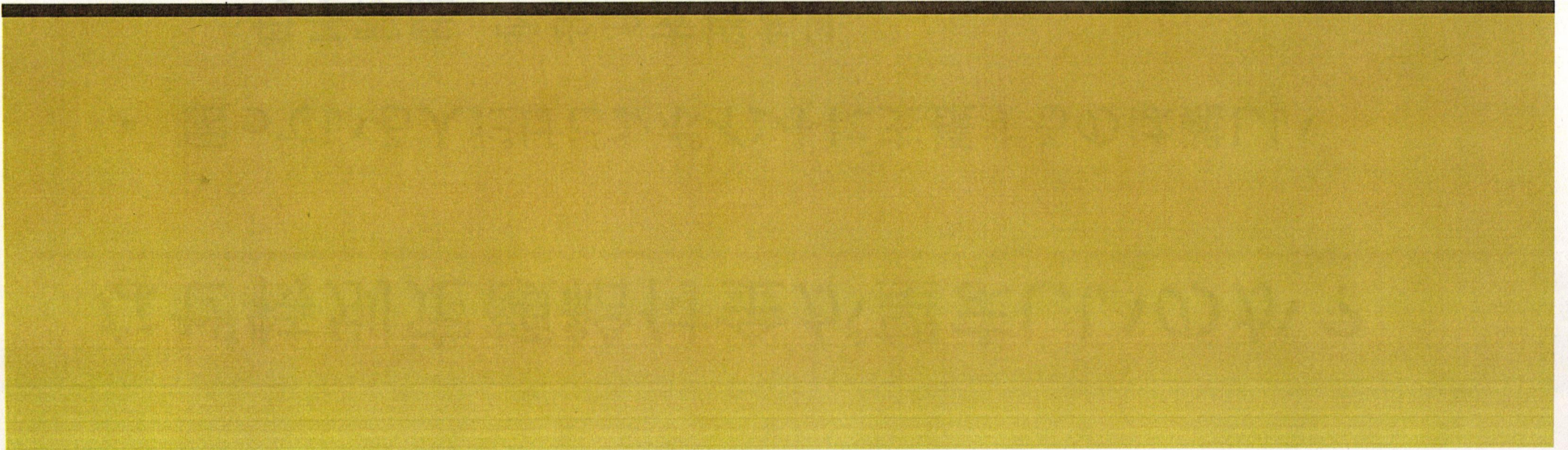
- 2017年～2018年
- 失業者2000人に560ユーロ(約6万8000円)
- 失業手当受給者と比較
- 生活満足度:高い
- ストレス:低い
- 労働意欲:変わらない

コロナ危機下のBI的政策

- イギリス
 - ジョンソン首相: BIは検討に値する
- 香港
 - 1万香港ドル(約14万円)
- アメリカ
 - ①1200ドル(約12万円)、②600ドル(約6万円)、③1400ドル(約14万円)
- 日本
 - 一律10万円

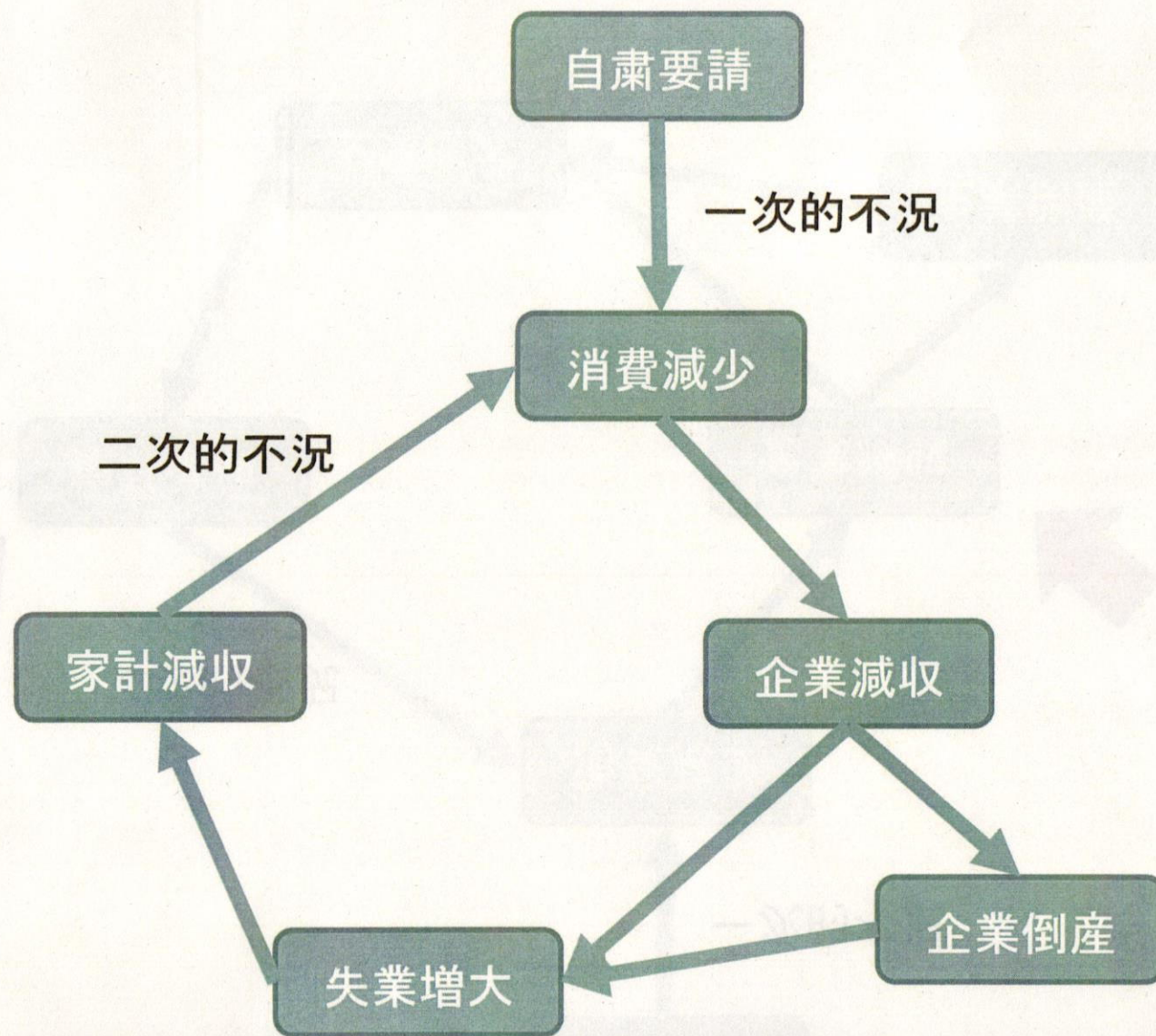
— 1997年10月1日現在の状況 —
— 1998年10月1日現在 —
— 1999年10月1日現在 —
— 2000年10月1日現在 —
— 2001年10月1日現在 —
— 2002年10月1日現在 —
— 2003年10月1日現在 —
— 2004年10月1日現在 —
— 2005年10月1日現在 —
— 2006年10月1日現在 —
— 2007年10月1日現在 —
— 2008年10月1日現在 —
— 2009年10月1日現在 —
— 2010年10月1日現在 —
— 2011年10月1日現在 —
— 2012年10月1日現在 —
— 2013年10月1日現在 —
— 2014年10月1日現在 —
— 2015年10月1日現在 —
— 2016年10月1日現在 —
— 2017年10月1日現在 —
— 2018年10月1日現在 —
— 2019年10月1日現在 —
— 2020年10月1日現在 —
— 2021年10月1日現在 —
— 2022年10月1日現在 —
— 2023年10月1日現在 —
— 2024年10月1日現在 —
— 2025年10月1日現在 —
— 2026年10月1日現在 —
— 2027年10月1日現在 —
— 2028年10月1日現在 —
— 2029年10月1日現在 —
— 2030年10月1日現在 —

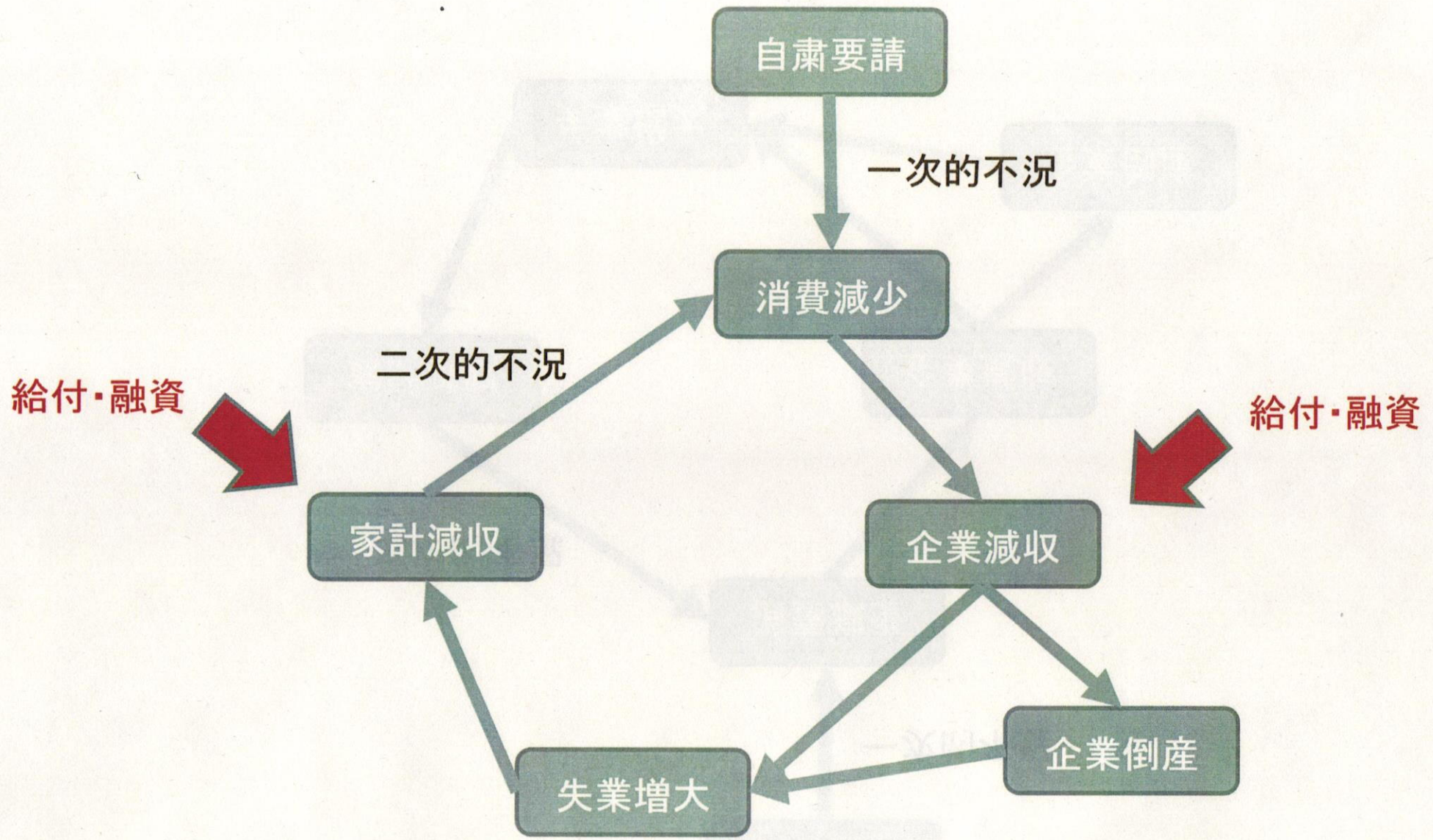
定額給付金と財政赤字



なぜ特別定額給付金が望ましいのか？

- 困っている人だけピンポイントに支援するのは難しい
 - 母子家庭、学生⇒支援あり
 - シフトが減ったフリーター、歩合制のタクシー運転手⇒支援なし
 - 政府が想定する困窮者しか支援を受けられない
- 理由を問わず全ての困窮者を支援すればよい
 - お金持ちからは後で税金をとればよい



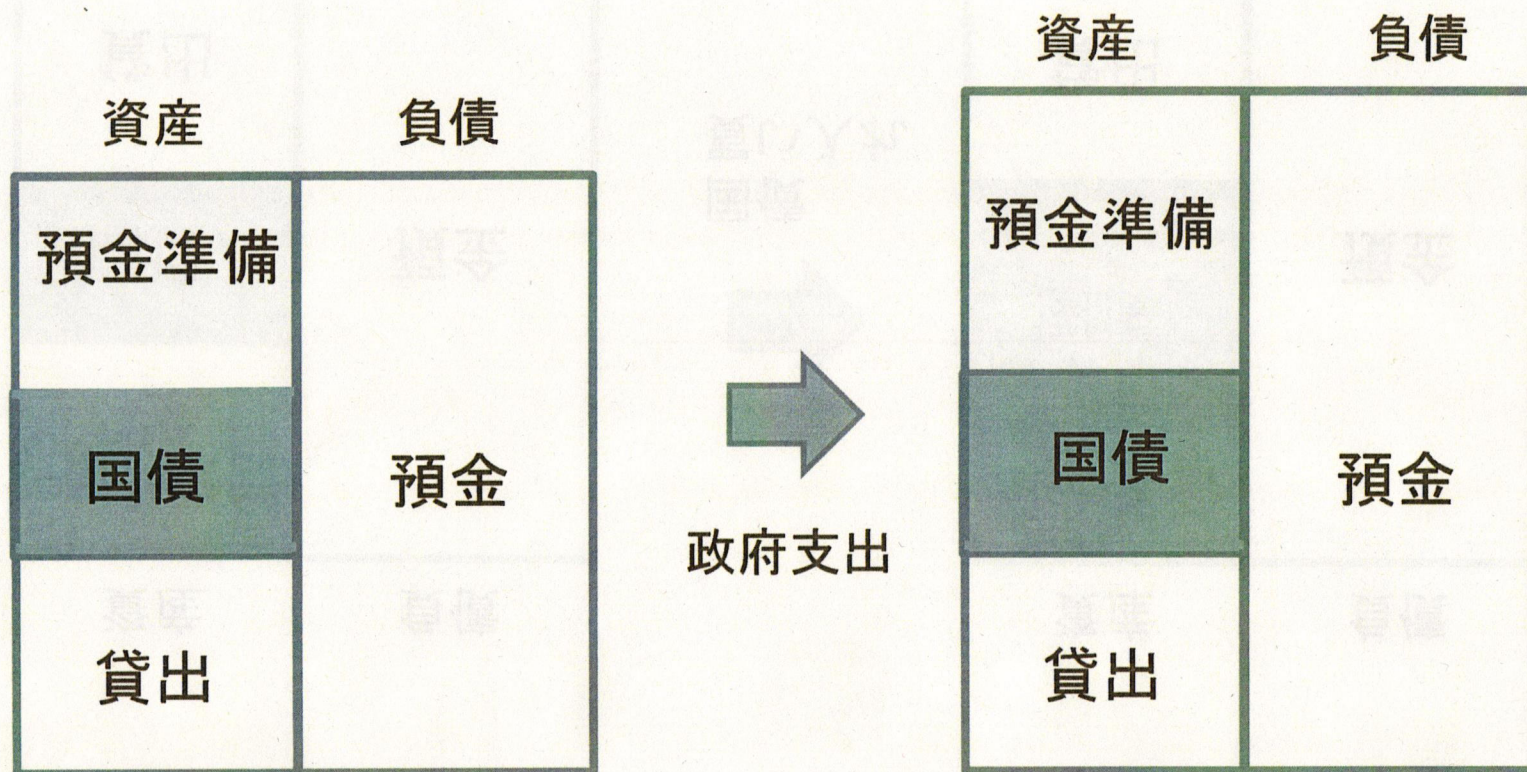


コロナ収束まで月10万円給付を

財源は限られているか？

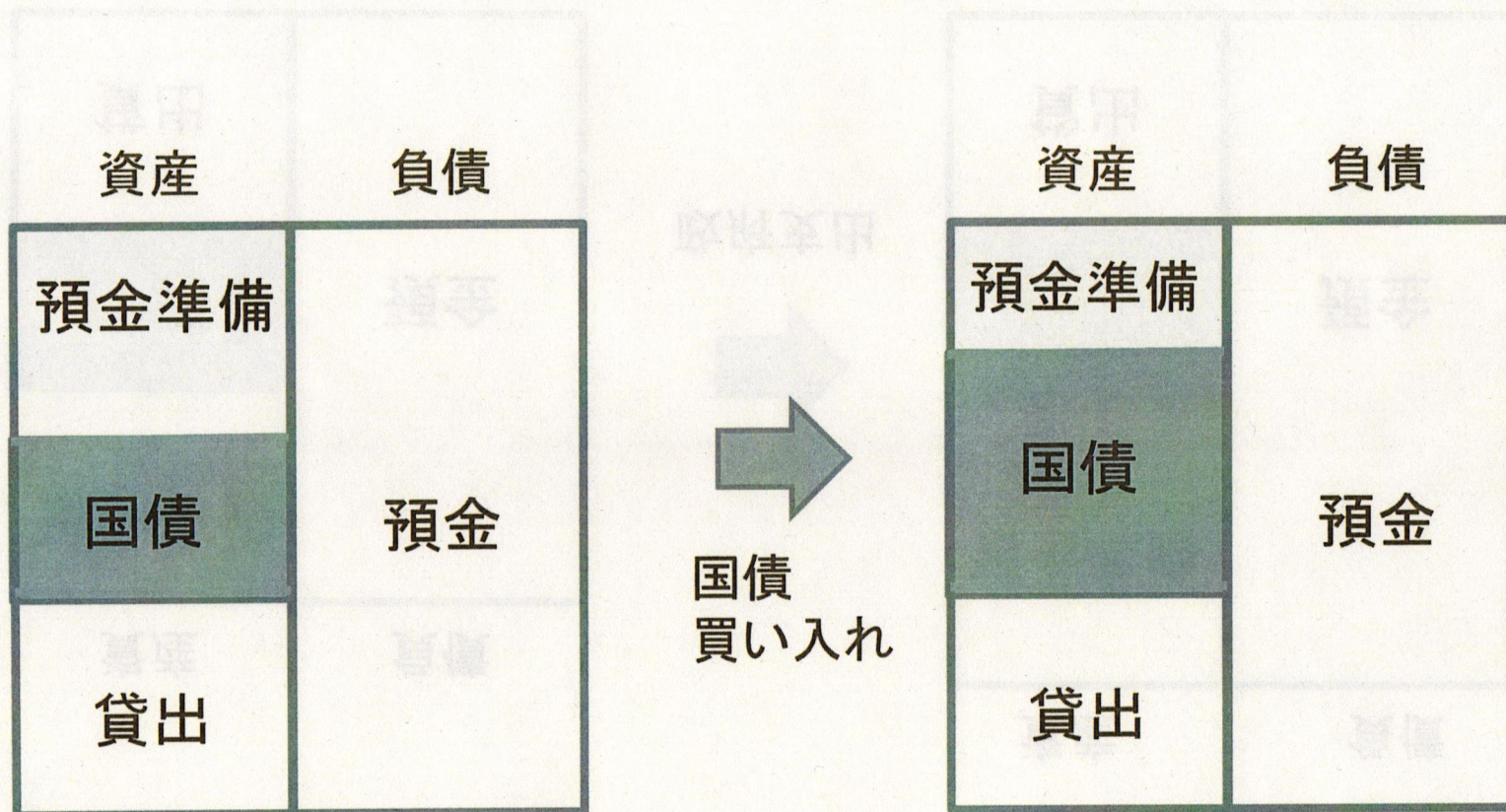
- お金は使ってもなくならない
 - 誰かの支出は他の誰かの所得
 - 金は天下の回り物
 - 天然資源とは異なる
- お金は無から生み出させる
 - 万年筆マネー(ジェームズ・トービン)
 - 政府・中銀には貨幣量を調整する責務がある
- 唯一の制約はインフレ

政府支出



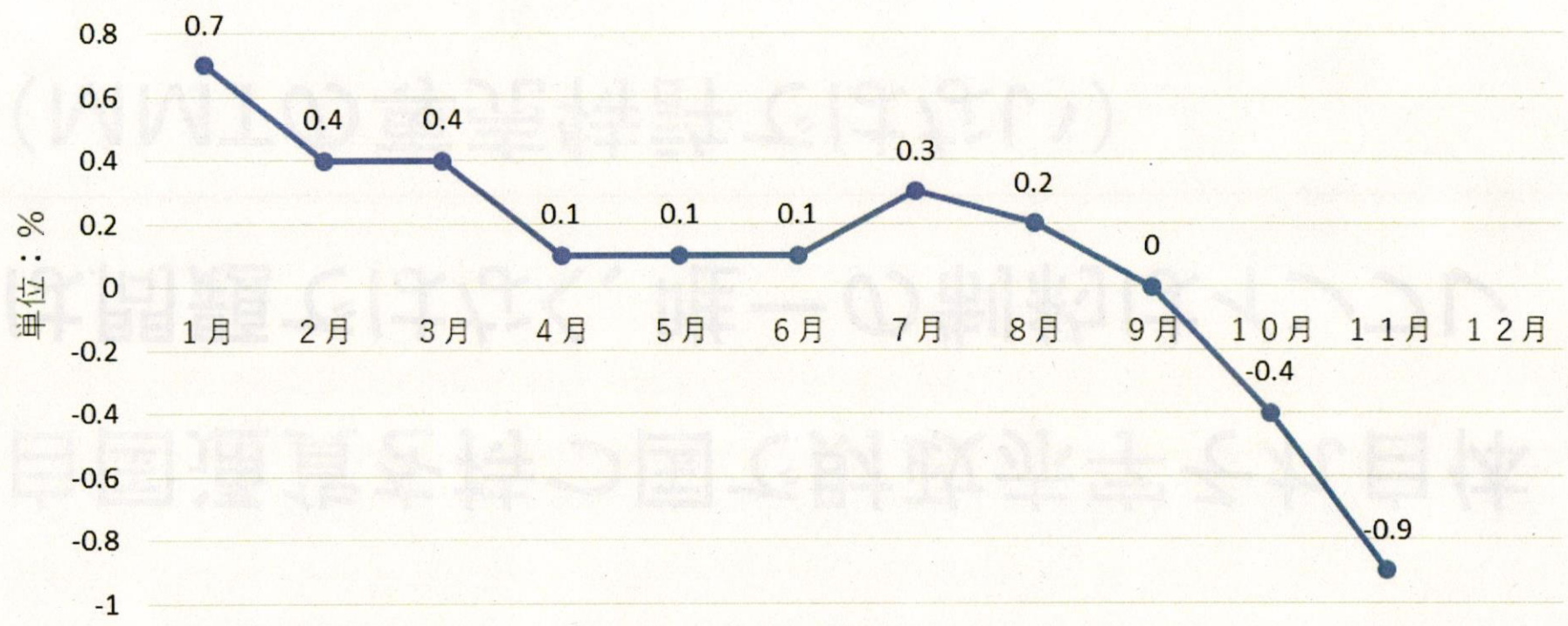
預金準備と預金の両方が増大

銀行による国債の買い入れ



預金準備が減って、保有する国債が増大する
預金は不変

2020年のインフレ率の推移



データの出所: Trading Economics

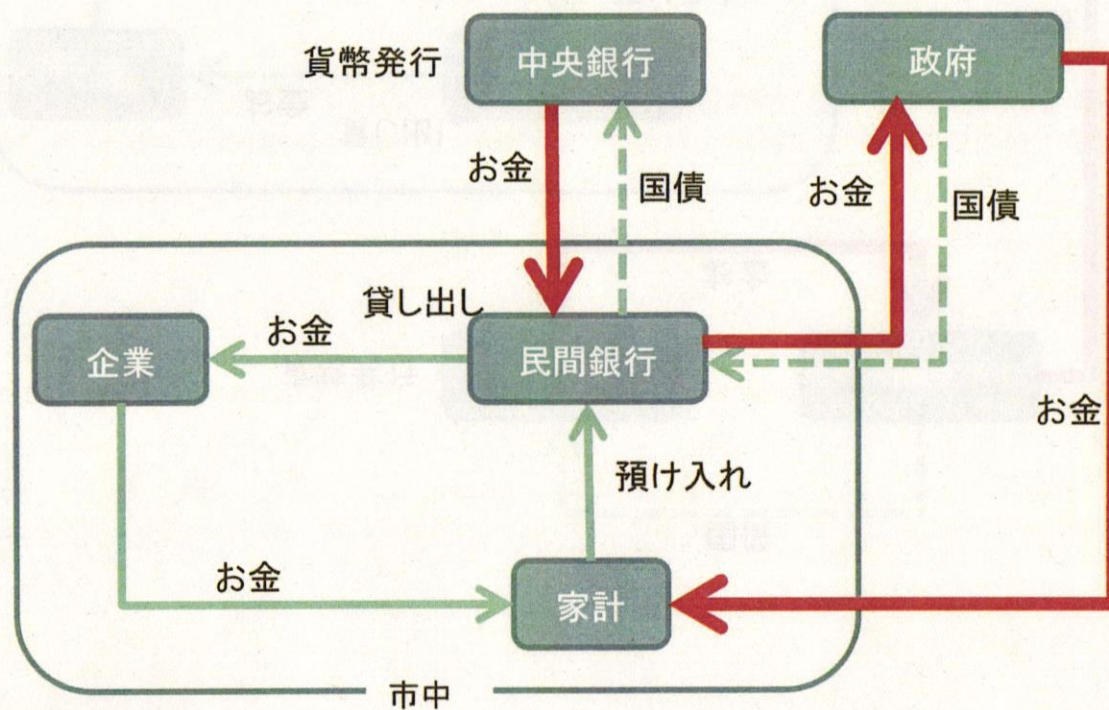
自国通貨を持つ国で財政赤字それ自体
は問題ではなく、唯一の制約はインフレ
(MMTの専売特許ではない)



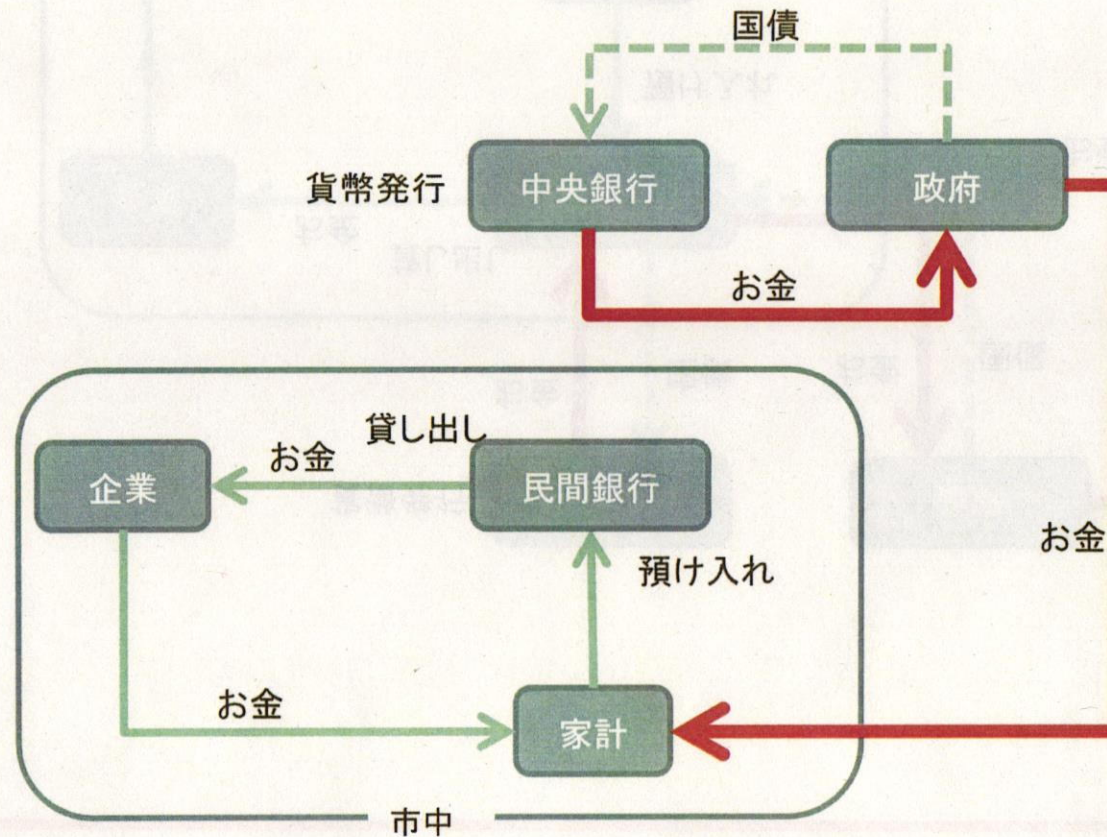
「国はいよいよになって金が無くなったらどうすればいいか？簡単です。
刷ればいい。ね？簡単だろ？」(麻生太郎財務大臣、2013年)

財政ファイナンスと二階建てBI

間接的財政ファイナンス



直接的財政ファイナンス



二階建てBI

- 固定BI
 - 最低限の生活保障が目的
 - 財源は税金
- 変動BI(国民配当、国民ボーナス)
 - 景気の安定化が目的
 - 財源は貨幣発行益(財政ファイナンス)

ETFを買い入れるような手軽さで
日銀が家計にお金を給付できる

二階建てBIに至る道

- フェーズ1
 - 固定BI導入(国債)
 - 月3万円からスタート、月7万円目標
- フェーズ2
 - 固定BIの財源切り替え: 国債⇒税金
 - 変動BI導入
- フェーズ3
 - 二階建てBI完成
 - 追加型BIから中間型BIへ

ご清聴ありがとうございました